

【会議内容】

1 開会（総務課長） 《3時30分》

固定資産評価審査委員会は、中立的・専門的な立場から固定資産の価格についての不服を審査いただくため、地方税法により設置が義務付けられた委員会でございます。

本日は、委員長の任期満了に伴う選任と併せ、固定資産税の状況説明等を予定しておりますので、よろしくお願い申し上げます。

2 委員長の互選

委員による互選により、渡邊俊裕委員が委員長に選出された。

3 職務代理者の指名

委員長により、川田一郎委員が職務代理者に指名された。

4 報告事項（固定資産税の状況について）

(1) 事務局 令和元年度は、委員会に対しての審査申出はございませんでした。

そのため、本日は税務課より、固定資産税の状況について説明いたします。

(2) 池淵固定資産税係長より別添資料に沿って固定資産税の状況を説明

ア 縦覧期間中の閲覧、問い合わせの状況について

縦覧者5名・閲覧者71名。縦覧及び閲覧者以外の、今年度の評価内容に関する問い合わせへの対応は、来庁16件・電話11件。

イ 固定資産税の評価状況について

(ア) 土地 価格の下落に伴う時点修正を実施。▲0.88%

(イ) 家屋 既存家屋は評価替え第二年度のため据置、新增築が滅失を上回ったため評価額が増

(3) 質疑応答

(渡邊委員) 調整区域の農地から宅地に転用となれば、一気に高い評価額がつくはずだが、反対にマイナスとなっているのはなぜか。

(税務課) 近年の傾向として、おそらく太陽光の関係と思われるが、一般畑が雑種地として転用されている。調整区域においては雑種地の価額は宅地の半分であるので、転用による増が地価の下落を上回ることなく、全体としての評価額もマイナスとなっている。

(渡邊委員) 空家の持ち主から、取り壊しについて相談を受けるのだが、米子は補助金を出すという。一方、境港は危険空家でなければ補助金はないとのことだった。これに関して、例えば対象枠の拡大や取り壊しから2年の減免といった対策を検討しているか。

(事務局) 都市整備課が「境港市空家対策計画庁内検討委員会」を立ち上げて、12月議会までに結論を出すように検討中である。

(渡邊委員) 令和2年度の予算組みには間に合うか。

(事務局) 詳細は不明だが、令和2年度予算を議決するのは3月議会なので、事務的には1月末までに結論が出れば間に合うと思う。

(税務課) 例えば取り壊し空き家の補助の対象枠を、現行の危険空家からどこまで広げるとかという点や、予算面の問題や公平性を考慮しなければならない。よって、他市の状況を見ながらとはいえ、一律に減免するというのは難しいのではないか。

(渡邊委員) 税収に直結するのならともかく、わずかな費用で対処となるのなら、放置するよりも安全ではなかろうか。とにかくきっかけとなるような取り組みが必要では。

(税務課) 減免となると、市の裁量において可能な範囲で行うことになる。

(川田委員) 市の裁量はどの程度認められているか。

(税務課) 市税条例で定めて、条例にのっとり減免することになる。

(渡邊委員) もちろん、条例改正なので、議会に提出し、議会で公平性等の内容について審議されることになる。

(事務局) 西部地震の際には、取り壊して住宅特例がなくなるところを2年間は引き続き住宅用地とみなし、3年目から住宅特例を外すという方法で減免した。同様にして、不公平感が出ないように配慮しながら、対策として何ができるかを庁内で検討している。

5 山陰都市固定資産評価審査委員会連合会定例会について

令和元年10月8日(火)に、島根県江津市で開催される総会について

出席者は、渡邊俊裕委員長に決定

協議する議題については、①益田市の脱退に伴う当番市の順序について、②連合会表彰規程施行細則の改正(様式内の「平成」を削除及び表彰者名にフリガナを加える)について

川田委員の勤続6年に係る表彰あり

6 閉会 《4時30分》